



# 学校だより 2月号

令和6年1月31日（家庭数配付）

## 「節分」

副校長 落合史男

二十四節気の「大寒」が過ぎ、次は旧暦のはじめ「立春」となります。今は、一番寒さが厳しい時期（寒の内）といわれ、1年の最低気温が記録されることも多く、冬のピークなのかもしれません。2月になると「三寒四温」という言葉があるように、寒暖を繰り返しながら徐々に暖かくなっていきます。春の到来を待ち望みながら、学校では1年のまとめをしていきたいと思えます。どの子も年度当初と比べ、確実に成長しています。一人一人の成長には個人差がありますが、学年末を迎え、もう一度子どもたちを見直し、それぞれの成長に合わせた指導に取り組みたいと考えています。

今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします

さて、2月3日は「節分」。今でも各地で「豆まき」など色々な伝統行事が行われています。私も、子どものころ「福はうち、鬼はそと」と言いながら豆をまいていました。この「鬼」とは、病気や怪我など人々を不幸にするものを、「福」は幸せのことで、病気や怪我をせず、毎日が健康で幸せな日々になるようにと願って「豆」をまきます。また、豆まきの豆は、普通「大豆」が使われますが、大豆を煎って自分の年の数だけ食べると風邪をひいたり病気になったりしないと昔から言い伝えられています。大豆は「畑のお肉」と言われるように、栄養価がとても高い植物ですから、節分の時だけでなく、普段からたくさん食べて、風邪などにかからない丈夫な体をつくっていききたいものです。

### グローブが届きました!!

永田小学校にもついに、大谷翔平選手からのメッセージとともにサイン入りのグローブが届き、30日の朝会で全校の子どもたちに紹介しました。

1月に入ってからは、「グローブはいつ届きますか」と聞かれることも増え、届くのを心待ちにしている子がたくさんいることがうかがえました。

まずは、卒業が近い6年生から順番に各クラスに回すなどして、子どもたちが実際に手に取る機会を作っていきたいと思えます

